TOSHIBA 東芝高輝度避難口誘導灯（電源別置形）

取扱説明書

保管用

（天井直付形）　FBL－10201－PS17［10形　片面灯］
FBL－10202－PS17［10形　両面灯］

認定

•器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠ 警告

●**施工は、取付方法にしたがい確実におこなってください。**
施工に不備があると正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下の原因となります。

●**器具を改造しないでください。**感電・火災の原因となります。

●**表示された電源電圧・周波数以外の電源で使用しないでください。**火災・感電の原因となります。
（常時AC100V±6V、非常時DC100V［変動範囲DC85～DC145V］）

●**電気設備技術基準にしたがい必ず第3種接地工事をしてください。**
接地が不完全な場合、感電・漏電の原因となります。

⚠ 注意

●**この器具は一般屋内用器具です。雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。**
落下・感電・火災の原因となります。

●**外の風が直接当たる場所では使用しないでください。**落下・破損の原因となります。

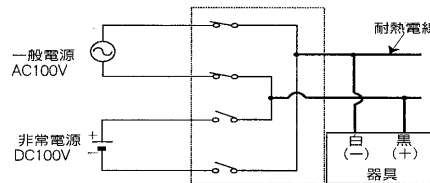
●**周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。**
火災及び非常点灯しない原因となります。

●**この器具の非常用電源までの配線は耐熱配線としてください。**　非常時に点灯しない原因となります。

●**この器具は連続点灯専用器具で消灯できません。常時の電源は誘導灯専用回路とし途中にはスイッチを設けないでください。**
非常点灯しない原因となります。

●**この器具の直流回路には極性がありますので、黒側に［＋］、白側に［－］を接続してください。**
故障および非常点灯しない原因となります。

●**非常点灯（直流点灯）は連続して2時間以上点灯しないでください。**　故障および非常点灯しない原因となります。

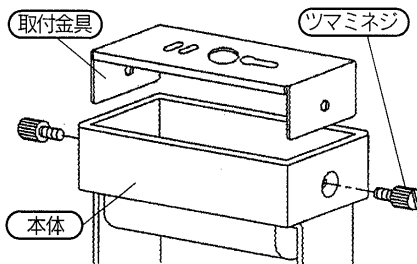
配線種類　この器具は2線配線専用です。

器具の取付方法

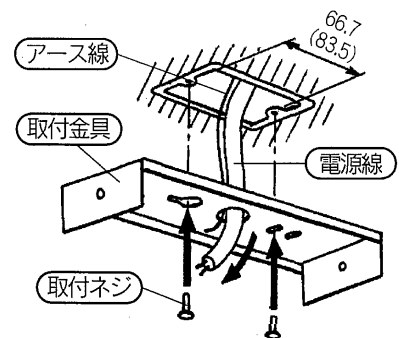
＊次のページに続く

1　取付前の確認

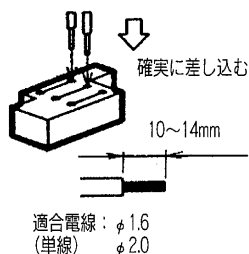
・器具重量（0.6kg）に十分に耐えるよう取付部の強度を確保する。
不備があると、器具落下の原因となります。
・吊装置使用時は以下の吊装置の取扱説明書を参照する。
PW－540、PW－541

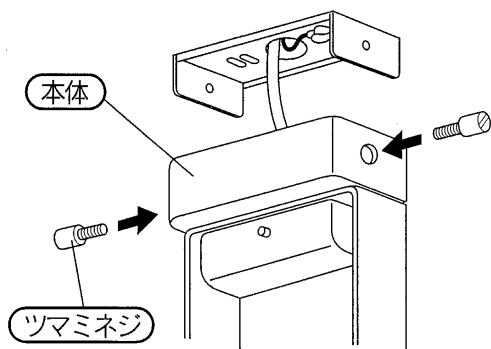
2　取付金具の取り外し

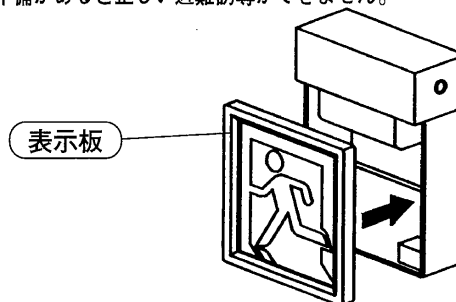
①ツマミネジを外す。
②取付金具を外す。

3　取付金具の取付

①電源穴から電源線・アース線を引き込む。
②取付ネジで取付金具を確実に取付ける。
取付け不備があると、器具落下の原因となります。

器具の取付方法（続き）

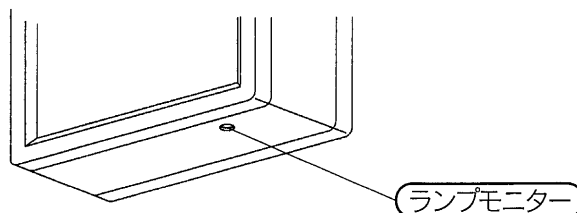
4 電源線、アース線の接続

①直流電源の極性を確認し、電源線、アース線を接続する。
（直流電源は黒側に［＋］、白側に［－］を接続）
端子台の送り容量は20Aです。
接続が不完全な場合や容量オーバーした場合、火災の原因となります。
②接地端子を利用して第3種接地工事を行う。
接地が不完全な場合、感電・漏電の原因となります。

5 本体の取付

●ツマミネジで本体を確実に取付ける。
取付け不備があると、器具落下の原因となります。

6 表示板の取付

①表示板を確実に押し込む。
取付けに不備があると、落下の原因となります。
②避難誘導などが正しいか確認してください。
不備があると正しい避難誘導ができません。

7 点灯確認

●電源通電状態（常時および非常時）でランプが点灯するか確認してください。
ランプモニター（赤）は消灯

正常に動作しない場合は『故障かな？と思ったときは』を参照し確認してください。

故障かな？と思ったときは

●表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現　象	考えられる原因	処　置
ランプが点灯しない	インバータ発振停止モードになっている。	電源を入れ直す。 （それでも点灯しない場合は、リセットスイッチを押す。）
	ランプコネクタが外れている。	ランプコネクタを確実に接続して電源を入れ直す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを押す。
	ランプが破損している。	ランプを交換してリセットスイッチを押す。
表示面が暗い	周囲温度が5～35℃の範囲外である。	5℃以下の場合暗くなる。
	ランプの寿命である。	ランプを交換してリセットスイッチを押す。
	非常点灯状態になっている。	常用電源に切り替える。
表示面に影・ムラがある	コネクタやリード線がランプより手前にきている。	表示面に映らない様、コネクタ、リード線を処理する。
	器具に不適合の表示板を使用している。	表示板を確認して適合のものに交換する。
ランプモニターが点灯している	ランプの寿命である。	ランプを交換してリセットスイッチを押す。
	ランプコネクタが外れている。	ランプコネクタを確実に接続して電源を入れ直す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを押す。
非常点灯しない	非常用電源の接続不良	正しく接続する。

取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

⚠注意

●ランプ両端のゴムブッシングおよび内蔵部品ケースは、絶対に外さないでください。感電の原因となります。
●照明器具には寿命があります※1。3~5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、
不具合がありましたら適切に処置してください。放置すると、火災の原因となることがあります。
●点検時、非常点灯（直流点灯）は連続して2時間以上点灯しないでください。　故障の原因となります。

※1　照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な目安は10年です。

使用上のご注意

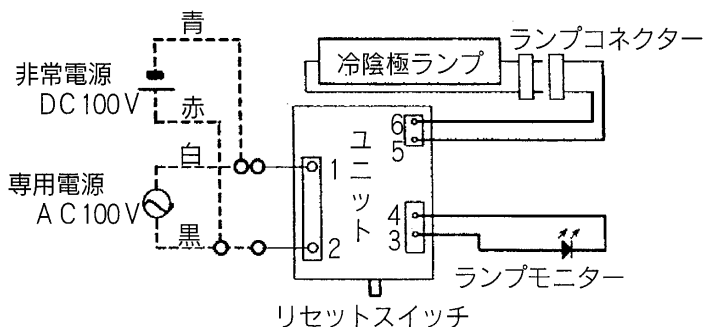
●コネクタ、リード線は（器具の取付方法）、（お手入れ・交換部品）にしたがい表示面に映らないように処理してください。
●ランプモニター（赤）……………………ランプモニターはランプの累積点灯時間が18000時間に達すると点灯し、ランプの交換時期の目安をお知らせするものです。（ランプ寿命は20000時間です。）
ランプモニターが点灯したら（ランプの交換方法）にしたがって交換してください。
（注）ランプモニターが点灯しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。
点検方法・・・・・・・・・・・・・電源別置形ですので点検スイッチはついておりません。点検は次の手順で行ってください。
1. 一般電源を切る。
2. 予備電源装置により通電し、非常点灯するかを確認してください。
（一般電源が入った状態では非常点灯の確認はできませんのでご注意ください。）

器具定格・接続図

定格

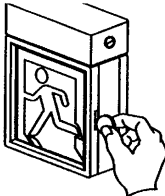
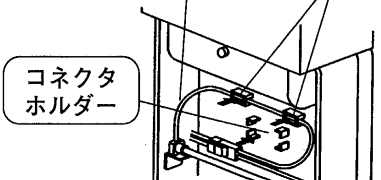
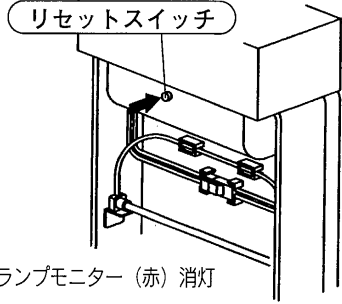
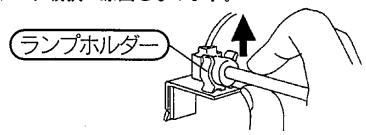
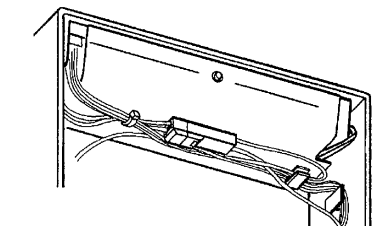
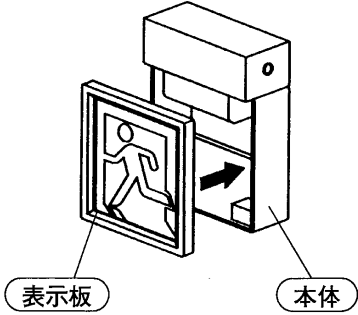
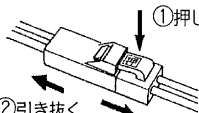
		FBL—10201—PS17 FBL—10202—PS17
常時	定格電圧	AC100V
	入力電流	0.055A
	入力電力	3.5W
非常時	定格電圧	DC100V
	入力電流	0.035A
	入力電力	3.5W

接続図

取説No.FBL—10201—PS17-T

お手入れ・部品交換

●器具の清掃について ……… 汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。アルコール、シンナー、ベンジンなど揮発性のものでふかないでください。変色・変質の原因となります。

●表示板の交換について ……… 長期使用により、表示効果が低下（変色・退色）した場合は表示板を交換してください。

ランプの交換方法

ランプモニター（赤）が点灯するとランプの交換時期です。（約2年毎）
（注）ランプモニターが点灯しなくても､ランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

（ナショナル蛍光ランプをご使用ください。）

ランプ	CF110T4EN

1 表示板を外す

外しにくい時はコインなどであける。

2 ランプをランプホルダーから外す

ランプホルダーを手で広げないでください。
ランプが取り付かない原因となります。
ランプの中央を持って取り扱わないでください。
ランプ破損の原因となります。

3 ランプコネクタを外しランプを交換する

電線を引っ張らないでください。
火災・不点の原因となります。

4 ランプコネクタを確実に接続する

接続が不完全な場合、火災・不点の原因となります。

赤色表示が見えなくなるまで差し込む

5 ランプを確実に取付ける

ランプ電線の長線側が器具の左側になるようにランプをホルダーに取り付ける。
ランプホルダーを手で広げないでください。
ランプが取り付かない原因となります。

FBL－10201－PS17の場合

コネクタ・電線はコネクタホルダーと線止めに固定してください。
電線処理が不完全な場合、表示面の影の原因となります。

FBL－10202－PS17の場合

コネクタ・電線は器具の中央部に固定してください。
電線処理が不完全な場合、表示面の影の原因となります。

6 リセットスイッチを押す

電源通電状態でランプが点灯するか確認する。

7 表示板を確実に取付ける

取付けに不備があると、表示板の落下の原因となります。
避難方向などが正しいか確認してください。
不備があると、正しい避難誘導ができません。

東芝ライテック株式会社　施設・HID事業部　〒140 東京都品川区南品川2丁目2番13号（南品川JNビル）　TEL03-5463-8768